

【政治】

6 日：第 7 回市政府党组扩大会议開催

6 日、肖盛峰市長の主宰により第 7 回市政府党组扩大会议が開催された。会議は中国共産党第 18 期中央委員会第 5 回全体会議（5 中全会）の精神を学習し、習近平総書記が第 26 回中央政治局集団学習会で発表した重要講話に対する理解を深め、中央政府の関連文書の精神を伝え、第 11 期遼寧省党委員会第 11 回全体会議の精神を貫徹し、大連市の第 13 次 5 年計画綱要改訂に関する議論を行った。（7 日付大連日報 1 面）

肖盛峰市長、吳忠瓊鞍山市長と会見

先日、肖盛峰市長は大連を訪れた吳忠瓊鞍山市長一行と会見を行い、今後更に協力関係を強化していくことについて意見を交換した。（7 日付大連日報 1 面）

10 日：国家発展改革委員会と遼寧省、模範党員の功績を讃える報告会を共同開催

10 日、国家発展改革委員会と遼寧省は、今年 7 月に心臓病のため急死した孫徳忠・元大連市発展改革委員会副主任の功績を讃える報告会を共同開催した。報告会は国家発展改革委員会庁舎内にある会場で行われ、同委員会の徐紹史主任が出席し発言を行った。同報告会はテレビ電話を通し瀋陽及び大連の会場と連動して行われ、遼寧省の陳求発省長、大連市党委の唐軍書記らが瀋陽会場、大連会場にて同報告会にそれぞれ出席した。（11 日付半島晨报 A10 面）

11 日：第 15 期大連市政府第 43 回常務会議開催

11 日、肖盛峰市長の主宰により第 15 期大連市政府第 43 回常務会議が開催された。会議は大連市の環境保護政策に存在する問題について分析し、改善措置を策定した。また、会議はさらに「大連市における戸籍制度改革を更に推進するための活動方案」、「大連市の都市道路及び地下パイプ工事暫定管理規則」等の議題を審議・採択した。（12 日付大連日報 1 面）

11 日：「金普新区ハイテク人材技能訓練基地」開業

11 日、中国東北部において規模が最も大きく、最新の設備を備え、技術の実用性が最も高い国家級公共技能訓練基地「金普新区ハイテク人材技能訓練基地」が正式に開業し、肖盛峰市長ら市幹部が開業式典及び 2015 年中国技能大会遼寧省職業技能競争「技師杯」の開幕式に出席した。（12 日付半島晨报 A10 面）

12 日：唐軍書記、暖房供給、駐車場建設等の施策の進捗状況を検査

12 日、唐軍書記はチームを率いて大連市各地を訪れ、暖房供給、駐車場建設等の施策の進捗状況等に対する検査活動を行った。唐軍書記は検査活動の中で、「品質立市」戦略を堅持し、人々の生活レベルを持続的に引き上げ、その暮らしを更に便利で心地よいものにしなければならないと強調した。（13 日付大連日報 1 面）

【経済】

第3四半期までの大連市対外投資、順調な成長を維持

先日大連市外経貿局が発表したデータによれば、今年第3四半期までに大連市において新たに批准された対外投資プロジェクトは92件であり、合意に達した投資総額は25.2億米ドルで、前年同期比で10%増加したことがわかった。また、そのうち中国側の投資総額は24.9億米ドルで、前年同期比で13%の増加となった。大連市の対外投資は主に民間企業によってけん引され、これまでの累積対外投資総額125.2億米ドルのうち、9割は民間企業によるものとなっており、投資先は香港、英国、日本、米国、韓国、オーストラリアを主とした59の国と地域に及んでいる。また、中国側の累積対外投資総額のうち、製造業が33%、ソフトウェア業界及びビジネスサービス業が30%、農業・林業・漁業が14%、貿易関連が12%をそれぞれ占めている。(10日付半島晨报A18面)

10日：肖盛峰市長、中鶴グループの王学軍董事長と会見

10日、肖盛峰市長は中鶴グループの王学軍董事長と会見を行い、現代農業及び新農村建設等の分野において協力関係を強化していくことについて意見を交換した。中鶴グループは、農業の産業化という分野において他社を牽引する代表的企業。(11日付半島晨报A10面)

10日：唐軍書記、肖盛峰市長、人力資源・社会保障部の張建国副局長一行と会見

10日、唐軍書記、肖盛峰市長は人力資源・社会保障部の張建国副局長（兼国家外国專家局局長）一行と会見を行い、華晨汽車グループ、東達グループ、ドイツALBAグループによる戦略協力枠組み合意の調印式典に出席した。上記の合意により、3社は今後大連市の国家生態工業モデルパークに共同で「中国・ドイツ循環産業モデルパーク」を建設し、不用となった車の解体・リサイクル、生活ゴミ、食品ゴミの回収・処理・再利用等の分野にて資本・技術・運営協力を展開していく予定。(11日付半島晨报A10面)

11日：大連市の10月の消費者物価指数(CPI)、前年同月比で1.4%上昇

11日、国家統計局大連調査グループが発表した10月の大連市消費者物価指数(CPI)は、前年同月比で1.4%の上昇となった。統計によれば、10月の食品価格、非食品価格、消耗品価格、サービス項目価格はそれぞれ2.6%、0.9%、1.8%、0.8%の上昇となった。また1月～10月までの数値を平均すると、前年同期比で1.6%の上昇となった。(12日付大連日報1面)

【社会・文化】

6日：「大連市退職人員老年大学」開校

6日、「大連市退職人員老年大学」の2015年度始業式が行われた。同大学は大連市人力資源・社会保障局が主催し、大連市企業離退職人員管理サービスセンターが実際の開設・運営を引き受けたもので、大連市民政局での登記を経た民営の非営利部門であり、全国で2つ目となる人社局の系統により開設された退職人員老年大学となっている。同大学では第1期目の専攻としてまず書道、中国画、京劇等6つの講座が開設され、今後退職人員らのニーズに合わせ専攻を増やしていく予定。(13日付新商報A09面)

鄭和号、遠洋航海実習を終え旅順軍港に帰航

6日、中国海軍の鄭和号が遠洋航海実習及びロシア、米国、韓国訪問の任務を終え、無事旅順の軍港に帰航した。鄭和号は9月23日に出航し、45日間で11,000海里を航行した。期間中、鄭和号はロシアのウラジオストク港、米国ハワイ州の真珠湾、韓国の鎮海港に寄航し、現地政府、軍隊、市民及び現地華人・華僑による厚い歓迎を受けた。(7日付大連日報1面)

7日：大連国際空港、天候不良のため国内・国際線214便が欠航

7日、大連国際空港は霧による悪天候のため同地発着予定の国内・国際線214便が欠航し、乗客7,000名に影響がでた。(8日付大連日報3面)

8日：「大連市メディア界青年記者座談会」開催

「第16回記者の日」である8日、大連市党委宣传部、市新聞工作者協会主催による「大連市メディア界青年記者座談会」が開催され、2015年度大連市優秀メディア活動者及び各メディアを代表する青年記者約30名が参加した。当該座談会では、大連広播電視台、大連日報、大連晩報、新商報、半島辰報、天健網、地鉄時報等を代表する青年記者がそれぞれ発言を行なった。(9日付新商報A10面)

【日本関連報道】

11日：日本ハウテック株式会社のインテリア体験モデルルームがオープン

11日、日本ハウテック株式会社のインテリア体験モデルルームが、甘井子区未来城明珠商業街に正式にオープンし、開業式典が行われた。大連三寰グループ有限公司の関健董事長、日本ハウテック株式会社の中川社長、栄光(大連)建築裝飾工程有限公司の今井董事長及らが同式典に出席した。同社は今後健康、快適、安全を基本理念とし、環境に優しいインテリアを大連市民に紹介・提供していく予定。(13日付大連日報C3面)

(注) 11月7日～11月13日の大連日報、半島辰報、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。